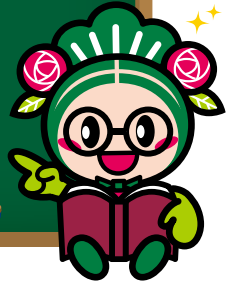


マッキーの防災教室

第4回 知っていますか？災害時の避難場所

皆さんこんにちは。今月は「災害時の避難場所」をテーマにマッキーと一緒に勉強していきたいと思います。避難場所は大きな災害が発生した時に、私たちにとって大事な役割を果たしてくれます。自分の家が被災した場合、どこに避難すればよいのか皆さんはご存知でしょうか？もしもの時に備えて自分が避難する場所、経路を確認しておきましょう。



避難場所の種類って？

避難場所は災害の種類や、規模によって分けられています。



市内のいろんな場所に避難所案内看板が設置してあるんですよ。確認してなっ！

①指定避難所

災害による危険があり自宅から避難した住民や、災害により戻れなくなった住民が一定期間滞在するための場所として、一定の生活環境を確保できる施設です。

②指定緊急避難場所

災害による危険が切迫した状況で、安全確保のため緊急に避難する一時的な避難場所です。

③福祉避難所

高齢者や体の不自由な人、乳幼児などの要配慮者が滞在できる設備を整えた施設です。災害発生後に必要があると判断された場合に開設します。

※福祉避難所は開設に向けた準備が必要なため、発災直後からの開設はしません。まずは①の指定避難所へ避難してください。

避難所一覧は、松原市総合防災ガイドマップ、市ホームページで確認してください。それぞれの施設ごとに対応可能な災害の種類の確認をお願いします。

防災ガイドマップが必要な人は市役所4階危機管理課までお越しください。



▲避難所案内看板

避難所までの経路の確認を！

避難時に危険となるものがどこにあるか確認し、避難所までの経路を確認しておきましょう。余震により倒れたり、ガラスが飛散するなどして危険なものとして、ブロック塀、自動販売機、ガラス張りの建物、古い建物などがあります。



避難所での生活って？

被災後の生活の場となる避難所は、地域の住民や避難者が協力し、助け合いながら運営していく『共助』の力が不可欠となります。そのためにも、避難所では、ルールやマナーを守り、思いやりを持って行動しましょう。

下に書いてあるものは、ほんの一部ですが、普段の生活の中でも実践するよう心がけましょう。



避難所ではみんなで協力し、助け合う『共助』が重要やねん。そのために普段から顔の見える関係を築くことが大切やでっ！
あと、避難所に行けば何でも揃ってるわけじゃないから、いざという時のために普段から備える『自助』も大切やでっ！

- ・ ゆずり合い、助け合いの精神を忘れない。
- ・ お互いのプライバシーを尊重する。
- ・ 自分勝手な行動をとらない。
- ・ 小さい子ども、高齢者、妊婦、障害を持った人や病気の人には気配りを。
- ・ 何か一つは役割を持って活動する。
- ・ 助けてほしい時は遠慮せずに声を出す。
- ・ 同じ姿勢のままずっと、体を動かす。
- ・ トイレをがまんしない。
- ・ トイレやゴミ捨てるルールを守って、清潔な環境を保つ。